

提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉

Anjo Trekant (アンジョウ トレカント) = 略して“アントレ”
 ※Trekant=デンマーク語で三角形

〈提案の趣旨〉

「人の手によって発展しはぐくまれた町“安城”
 その安城 DNA を未来へ繋ぐ **WELLNESS CULTURE** の発信拠点“アントレ”
 JR 在来線と新幹線の鉄道に囲まれたアイコンックな形状の**三角地帯**は安城市の **WELLNESS 先進特区**へと生まれ変わります。

定刻どおりに通過するまちから使い続けたいまちへと安城市が生まれ変わるために、西三河の玄関口、そして新しい安城文化の発信拠点としてのあり方を考えました。安城の歴史、風土、経済、市民活動、地域文化から見えてきた安城らしさを最大限に反映した将来像が **Wellness を中心に見添えた健康的で豊かな生活・文化**です。



交通網に囲まれアクセスが限定されている三角エリアの特徴を生かし、アントレは**歩行者優先エリア**とすることで**安全で回遊性の高い特区**として歩きたくなる場所づくりを目指します。駅前エリアを中心に計画中の多目的交流拠点(アリーナ)、オフィス集積エリアである新幹線三河安城駅南側(サウスアントレ)、明治用水沿いに伸びるサイクルネットワークなどへの連結を明確にすることでアントレが**ホットスポット**となりながら、周辺エリアへの波及・連携を促します。

ウェルネスをテーマにスポーツ、フィットネス、医療、デジタルを掛け合わせた協創プログラムをアントレ全域に展開することで、日常時、非日常時ともに、常に**幅広い世代の人が集い、遊び、共に育ち、アントレ内を自由に歩くこと**で広がるワクワクと賑わいがある場所を目指します。

【軸となる施策】

- ・在来線三河安城駅改札からそのまま**空中デッキ**で賑わいのプラザ空間へ自然と向かう**快適な歩行空間**
 ⇒イベント時は歩行者天国範囲を最大限に広げ、回遊性と安全性が確保された**賑わいの核**となる
- ・日常時も非日常時も集い遊び賑わうことの出来る**様々なプログラムと場所づくり**
- ・安城市のサイクルシティの中心拠点となる**エコサイクルビレッジ**の整備
- ・明治用水の暗渠を解放し見える化し、歴史と自然の学びの場ともなる潤いの**キャナルプラザ**
- ・アントレの賑わいと緑の軸となり心地よい居場所の仕掛けを散りばめた**シーホースプロムナード**
- ・連絡通路や鉄道高架下を有効活用した**アンダーパスモール**により**地元スタートアップ**をサポート
- ・モールと一体利用でき、日常的に**多様なアクティビティ**がうまれる**プロムナードプラザの整備**
- ・アントレを周回し各施設をつなぐ**全長2kmのランニング・ウォーキングループの整備**
- ・**IT技術の導入**による街の安全性、利便性、賑わいの創出と向上